

2015年3月入職

しみずみか  
清水三佳



## 勇気を持った決断が、自らを良い方向に導く

### 苦手な部分を克服し、次なるステージへ

私はどちらかと言うと"縁の下の力持ち"タイプで、リーダーシップがある方ではありません。人前で発言するのも苦手で、「こうした方がいいのでは」と思っても、まわりを気にして口に出せないことも多々ありました。そんな私が思いやりエキスパートの候補に推薦されたのは、苦手な部分を克服してほしいという上長からの意図があったように思います。実際、思いやりエキスパートに選ばれたことで発言の機会が以前よりも増え、人前に立つことにも少しずつ慣れてきた感覚はあります。研修で教わったことを完全に実践できるまでには時間がかかるかもしれませんが、学んだことを常に頭の中に留めながら行動し、一つひとつを体に馴染ませていきたいです。ゆくゆくは、意識せずとも勝手に体が動くくらいに自分の中にしっかりと浸透させていきたいと思っています。



### 患者さまのご家族からいただいた1通の手紙



患者さまはどなたも非常に思い出深いのですが、ある患者さまのご家族からお手紙をいただいたことは特に印象に残っています。「いつも寄り添っていただき、とても安心しています」という内容で、手紙を読んだ時はもっと頑張ろうという気持ちが沸々と湧いてきました。その患者さまは、私たちに対する要望が多かったこともあり、対応に困って距離を置いているスタッフもいました。

私は誰かがパイプ役にならなければならないと考え、その患者さまと積極的に関わることにしました。自主的に行動を起こすのは得意ではありませんが、その時は覚悟を決めたのを覚えています。患者さまとスタッフの橋渡しを行っていく中で徐々に双方のコミュニケーションは円滑になり、対応に困ることも減っていきました。後から知ったのですが、患者さまは自宅に帰った時やご家族と電話される際に、「自分のことを受け入れてくれる人がいる」というように私のことをよく話題に出されていたそうです。あの時、勇気を持ってパイプ役になって本当に良かったと今でも思います。今回、勇気を持って思いやりエキスパートになったことも、必ず良い方向に自分を導いてくれると信じています。

患者さまの安全と安心を  
第一に考え行動し  
思いやりのある看護を提供し可  
清水三佳